

流派を超えて 二十年

古典を礎に 表現のその先へ

若獅子会が奏でる 邦楽囃子のこれから

結成二十周年記念公演

第十五回

若獅子会

令和8年11月13日[金]

開場 18:00 / 開演 18:30

会場:日本橋公会堂

チケット:一般 5,000円 / 学生 2,500円 (全席自由)

出演:若獅子会

お問い合わせ:

若獅子会事務局

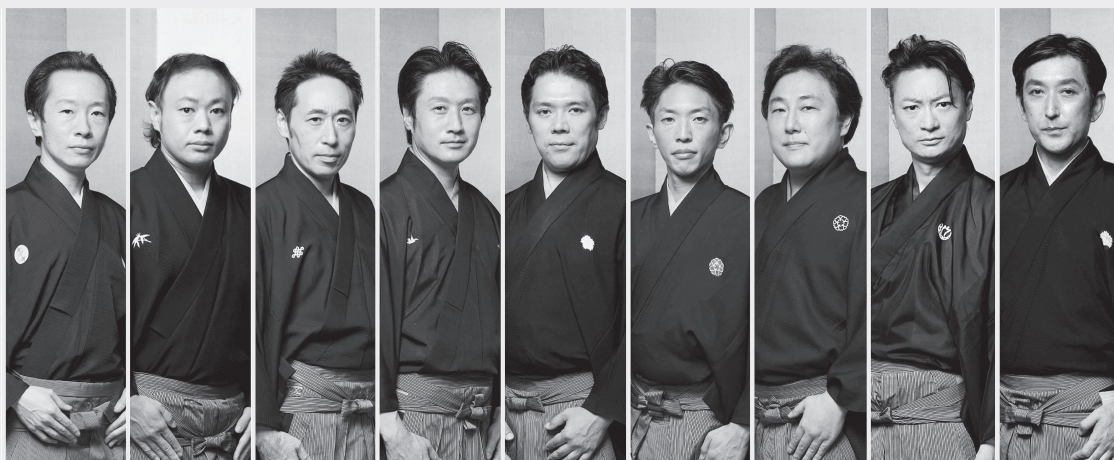
info.wakazishikai@gmail.com

主催:若獅子会

助成:アーツカウンシル東京[東京芸術文化創造発信助成(単年助成)]芸術創造活動

協力:岡田屋布施

二十年、囃子方の可能性を追い続けて



鳳聲晴久 福原百貴 堅田喜三郎 福原鶴之助 福原百之助 望月左太寿郎 望月正浩 藤舎呂鳳 福原貴三郎

【若獅子会について】

若獅子会は、二〇〇六年に若手の邦楽囃子方が流派を超えて集まり、結成しました。

結成の原点にあったのは、若手囃子方が互いに切磋琢磨し、古典曲に挑みながら演奏技術を磨くことでした。その姿勢は現在も変わりません。

第十四回公演でも古典曲のみを取り上げるなど、古典曲の研究と、古典を演奏するための技術の研鑽を続けることは若獅子会の活動の大切な柱となっています。古典を学び、技術を磨き、互いに高め合う。

その確かな礎があるからこそ、若獅子会はその先にある新しい表現にも挑戦してきました。

そして、この二十年の歩みは、若獅子会だけの力で築いてきたものではありません。共に舞台をつくってくださった方々、活動を支えてくださった方々、そして応援してくださる皆さまとの出会いに支えられ、今日まで歩みを重ねてくることができました。

【結成二十周年記念公演】

今回は、若獅子会が歩んできた軌跡を振り返るとともに、その先にある新たな表現へと踏み出します。

これまで生み出したオリジナル曲をはじめ、古典のフレーズを活かし、新たな音楽として構成した作品、笛の表現に焦点を当てた新作、そして、普段は舞台袖で効果音や情景を音で描き出す「陰囃子」を朗読と組み合わせて舞台上で演奏する「邦楽囃子朗読劇」など、さまざまな表現に挑みます。

囃子方だからこそ生み出せる多彩な表現。その先に広がる邦楽囃子の魅力と可能性。

これまでの歩みを礎に、若獅子会は次の舞台へ。その節目となる一夜を、ぜひ会場でお楽しみください。

舞台を支える囃子方が、自らの表現を求め二十年間にわたって音楽と舞台表現の可能性を追求してきた。その歩みとこれからを、一夜の舞台に。

<チケットのお申し込み>

お申し込みフォーム/URL

<https://forms.gle/tiWM2rB3GphKR3Ct5>



メール/<https://d.quel.jp/I6044574>

出演 若獅子会
堅田 喜三郎
藤舎 呂鳳
福原 貴三郎
福原 鶴之助
福原 百之助
鳳聲 晴久
望月 左太寿郎
望月 正浩



会場 日本橋公会堂

<http://www.nihonbasikokaido.com/>

住所 中央区日本橋蛸殻町1-31-1

●半蔵門線【水天宮前】駅6番出口から徒歩2分

●日比谷線【人形町】駅A2出口から徒歩6分

●浅草線【人形町】駅A5出口から徒歩10分